

J R鳴門線に関する意見交換会 欠席者等事前意見まとめ

1 路線について

- ① J R四国が、「輸送密度」、「営業係数」等に基づき J R鳴門線の廃線、バスへの転換、「上下分離方式」、第三セクターへの移管等を赤字の根本的な解決策と位置付けているのであれば、外部で利用促進策を検討しても大きな成果は期待できない。
- ② 現在のダイヤ設定が本当に利用者に出ているのかも検証すべき
- ③ 二次交通が整備されていないこと、沿線に有力施設がないことから徳バスの協力が欠かせない。「J R+徳バス+α」
- ④ J R鳴門駅または池谷駅のホームあるいは、鳴門駅から池谷駅の車中にて、焼き芋とお茶の販売を行う。(期間限定)
- ⑤ J R鳴門線の意義は鳴門～徳島間の都市間輸送と考えているため、池谷駅での高德線と連絡が出来ていない便が多い。このことにより、高松方面からの観光客や板野～鳴門間の高校への通学などが不便
- ⑥ 高松方面からの観光客の場合、池谷駅で長時間待ち合わせ、鳴門駅でバスとの連絡が悪いため、2回待ち合わせをする場合があり不便
- ⑦ 線路沿いに徳島バスが走っているなど競合している箇所がある。
- ⑧ 板野～鳴門間の徳島バスと J Rの共通運賃・きっぷの適用

2 駅舎等利用環境について

- ① オブジェ（特産品やマスコットなど）を製作しホームへ設置（Welcome to Naruto の醸成）
- ② 顔はめ看板（パネル）の設置（オブジェの隣へ）
- ③ J R鳴門線のテーマソングを作り構内で放送
- ④ イルミネーションの点灯（冬季）
- ⑤ 車内を展示場と位置づけ、沿線の幼稚園児、小学生が描いた絵や書道作品を展示することにより、地域との密着度を高め J R鳴門線へ愛着を持っていただく。（利用率向上の一助）
- ⑥ トイレ環境の改善。池谷駅のトイレが汚いため、使用できず鳴門駅まで我慢したことがある。相応の運賃をとっているのだから、せめて清潔にして欲しい。無料での対応が無理なら、優良でも良いのできれいに整備した方がよい。
- ⑦ 池谷駅は、鳴門線と高德線の乗り換えのために利用されるが、乗り換えの際、必ず陸橋を登らないといけないため、大きな荷物のビジネス客、観光客、高齢者等が利用しづらい。

3 今後の取り組みについて

- ① 利用促進策を実施するためには、まずは J R四国自らが中心となって販促経費を負担し、マンパワーを投入しなければ成功は望めない。
- ② 通学・通勤・通院・観光等を目的とした利用者の実態調査をすべきではないか。
- ③ 企画乗車券の販売
 - Ex) 高齢者用格安定期券（65歳以上）
 - 割引乗車券（65歳以上半額・障がい者半額・家族割引など）

④集客力がある施設とのタイアップ（1日フリー乗車券）

Ex) ホテルのランチ券・ディナー券・カフェのスイーツ券付き

※JR乗車券+徳バス運賃+ランチ等の単純な合算料金では、販売は伸びない。割引原資を如何にするかが課題となる。

⑤JR鳴門駅観光案内所にて、JR鳴門線オリジナルグッズの販売。

Ex) キーホルダー、マスコット、バッチ、ハンドタオル、バッグ等

※JR四国が提供できる「鉄道グッズ」など、鉄道マニアの呼び水となる可能性大

⑥車内放送はうるさく感じる人もいるため短時間で沿線の紹介をしたらどうか。

Ex) 鳴門金時ほり体験、大谷焼の体験教室、藍染体験等の紹介

⑦JR鳴門線の一両のみを動く広告塔として、ラッピング列車の運行を検討。仮称：「なると金時号」、「なると鯛号」等、名称は公募にて決定

⑧沿線地域の散策マップ、沿線まち歩きを紹介するなど沿線情報を掲載すべき

4 その他

①JR四国で会員組織をつくり高齢者（65歳以上）、運転免許証返納者を会員化し、登録者へ特典を付与する。JR四国のファンづくり。

②定期運行列車にイベント列車を増結。親子を対象とし「サンタ列車」をクリスマスシーズンに運行。徳島・鳴門間約40分間。車内をクリスマス用にディスプレイ、クリスマスソングを流し、子供たちにサンタクロースからお菓子入り長靴をプレゼント。

他に仮想して乗車していただく「ハロウィン列車」や夏は、カブトムシをプレゼントする「カブトムシ列車」の運行事例が他地区ではある。

③学生の需要増につなげるため、車内へ自転車を持ち込めるサイクルトレインを検討

④海外の鉄道会社との友好提携協定の検討。インバウンドの取り込みの一助として、台湾・香港・中国・韓国等との姉妹鉄道協定を検討すべき。現地のマスメディアで取り上げられる可能性大。

⑤JRが鳴門線を撤退した場合、バス専用路線を整備し、BRT（バスラピッドトランジット）システムの導入。（鳴門～松茂～徳島ルート）

⑥DMVやBRTの鳴門線への導入は、阿佐海岸鉄道のようにJR線と切り離され、鳴門～徳島線が運行できなくなり、利便性が低下してしまうため現時点での導入は反対。

⑦北海道沼田町の「鉄道ルネサンス構想」を徳島県でも検討

構想の内容：鉄道に会員制度を導入し、会員に全線利用可能な顔写真付き定期の発行

利用者の利点：一定の会費であるため、使えば使うほど割安になる

県内全線が乗り放題になることにより、各路線への訪問の動機付け

JR側の利点：距離別の運賃収入だけでなく、鉄道会員制度による会員費により増収

景気に左右されにくい安定収入（自動更新による会員継続）

駅中ビジネス等による関連収入増加（利用者増加でさらなる展開可能）

自治体の利点：乗り降り自由なため、JRと自治体の協力体制を築きやすい。

鉄道利用者が増えることで人流が活発になり、地域経済の活性化

年間利用という特性を生かしたりピーターによる関係人口の構築